

荒川へ出かけてみよう

互いを気づかって、もっと楽しく

荒川の河川敷は広大で、最大で約2.5kmの川幅は日本一ともいわれています。広い河川敷は、グラウンドや公園、ゴルフ場や農地などに利用されているほか、豊かな自然環境が残る場所でもあります。

荒川の流域で都市化が進む中で、荒川の河川敷は貴重なオープンスペースとして多くのみなさんに利用されています。年間の利用者数は荒川全体で2千万人以上（平成21年度河川水辺の国勢調査）。利用形態もさまざまで、スポーツやレクリエーションなどのほか、自然観察や散策などが楽しめます。

一方、利用者が増え、利用形態が多様化する中で、みなさんの「気づかい」がより大切になっています。秋本番です。子どもや高齢者、他の利用者や動植物を思いやる気持ちを持って荒川へ出かけてみませんか。

水防災意識社会って何だろう

必ず起こる大洪水。水害リスクの理解が第一歩

前回は、水害と隣り合わせで暮らしていた先人の知恵として「上げ舟」や「水塚」を紹介しました。こうした備えのない現代の私たちは、どのように水害に備えたらよいのでしょうか。

もし荒川が氾濫したら、あなたのまちはどうなるのでしょうか。川沿いの市街地、かつて浸水被害のあった地域、急なげけなど水害が発生する危険について普段から気にかけておきたいものです。

浸水被害の恐れがあるまちには、市町村が作成した「洪水ハザードマップ」があります。洪水のとき、お住まいや職場、学校がある地域は？避難はどこへ？洪水ハザードマップには、想定される浸水深が色分けで示され、避難所の位置などが記載されています。国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」から、あなたのまちのハザードマップをご覧くださいので、ぜひ確認を。身近な水害リスクを理解することが、みなさん一人一人にできる水防災意識社会再構築の第一歩です。

荒川上流河川事務所

心が叫びたがってるんだ。

荒川の上流、秩父を舞台にした劇場アニメ「心が叫びたがってるんだ。（ここさけ）」とのコラボが実現しました。主人公たちが4回にわたって荒川の今を紹介します。

【次回掲載は2月頃予定】

仲間を気づかえば、もっと楽しいぞ

秋の荒川は気持ちいいですよ！

●原画：落合 謙 ●監修：田中 将賀 ●仕上げ：中島 和子
©KOKOSAKE PROJECT

誰にでももっと楽しんでほしいから 荒川でも「クール・ジャパン」

電車で席を譲ったり、人混みで先を急ぐとき「通ります」と声をかけたり…何気ない気づかいが、みなさんのまちを快適で安心・安全にします。そんな日本人の気づかいや行儀の良さは、世界の人の目にも「クール」と映っているようです。

荒川は大勢が利用するオープンスペース。誰にでも気持ちよく楽しんでほしいから、荒川でもグッドマナーをお願いします。

考え直してみませんか、こんな行為——。

河川敷でのゴルフ練習／自転車の高速走行／水上バイクによる暴走／多くの人がいる場所でのラジコン飛行機やモーターパラグライダー／許可された場所以外でのバーベキュー／リードをつけない犬の散歩

荒川をもっときれいに

11月、「荒川クリーン協議会」による河川敷の不法投棄ゴミの一斉撤去を行います。ボランティア参加を募集する会場もあります。詳細は当事務所ホームページをご覧ください。

荒川には思ったより自然が残ってる いろんな生き物に会いに行こう

北本自然観察公園は雑木林や草原、池や湿地など里地・里山の多様な自然が保全され、さらに隣接する荒川の河川敷にある「荒川ビオトープ」の自然ともつながって野生の生きものの生息地として、人の立ち入りを禁止する「気づかい」により、生息環境を保全しています。園内では約200種の野鳥のほか、イタチやタヌキなどの野生動物が確認されています。

園内にある県自然学習センターは自然学習や環境教育の拠点施設で、観察会や体験イベントなどが定期的に開かれています。みなさんも、動植物の生息環境をのぞいてみませんか。

北本市荒井5-200。電話048-593-2891（自然学習センター）[埼玉県自然学習センター](#)で[検索](#)

荒川の思い出を共有しませんか。昔の写真を募集しています

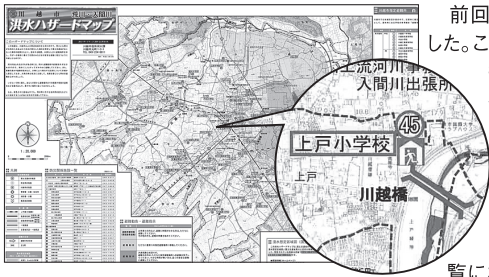
荒川上流部の改修100年目を迎えるにあたり、各種広報の素材として活用する荒川の昔の写真を探しています。今では見られない荒川や付近のまちや暮らしの様子、昔の水害の光景など、みなさんの記憶に残る荒川の写真をお寄せください。詳しくは、当事務所ホームページの募集要項をご覧ください。



荒川では自転車の事故も発生しています。ご注意ください



JR北本駅からバスで15分。詳しくはHPで確認を
（写真提供：荒木三郎氏）



ハザードマップで、避難所を確認しましょう